

地域ESD拠点アンケート結果 2019-2021年度推移

2019年度：2021年2月実施

2020年度：2021年5月～6月実施

2021年度：2022年4月～5月実施

2022年12月

ESD活動支援センター

アンケートの目的

地域拠点アンケートは、ESD活動推進ネットワークの現状を把握し、今後の推進ネットワークの事業計画に反映することにより、ネットワークの価値を高めることを目的とする。またアンケート結果は、行政事業レビューの活動実績・成果実績、第五次環境基本計画点検における評価指標等として活用されている。

	2019年度アンケート	2020年度アンケート	2021年度アンケート
対象期間	2019年4月～2020年3月	2020年4月～2021年3月	2021年4月～2022年3月
アンケート実施時期	2021年3月	2021年6月～7月	2022年4月～5月
対象拠点数	120拠点	120拠点	159拠点
回答拠点数	79拠点	66拠点	110拠点
回答率	66%	55%	69%

※2019年度アンケートは、対象期間終了後11ヶ月を経て実施。

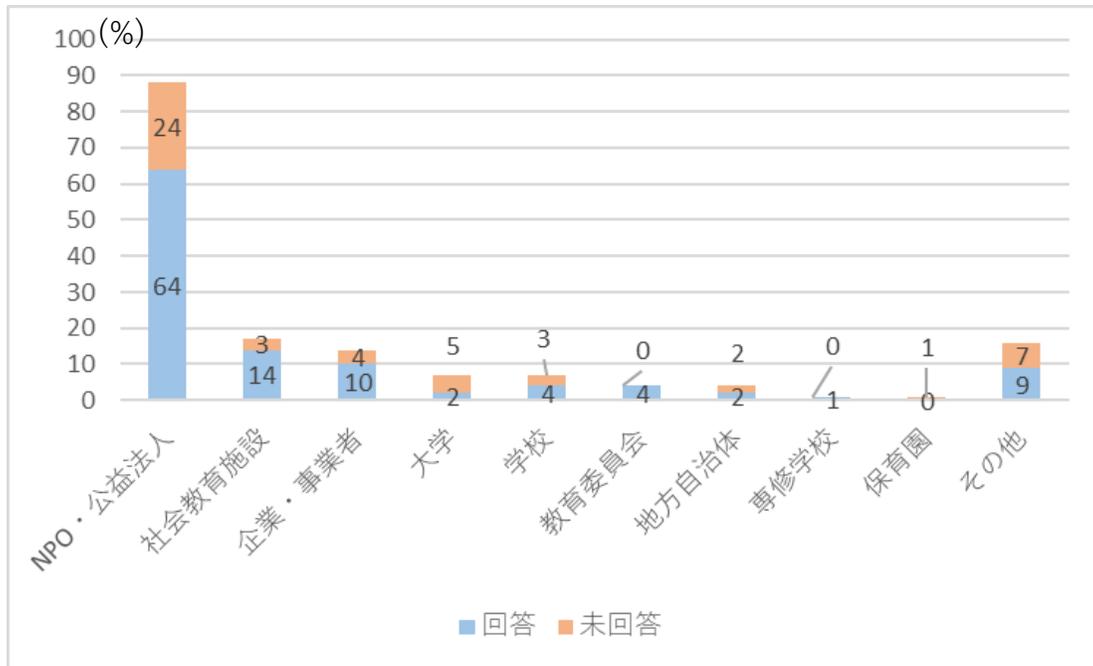
※2020年度アンケートは、2019年度アンケートの3ヶ月後に続けて実施。

※2020年1月～新型コロナウイルス感染症が日本国内で拡大。

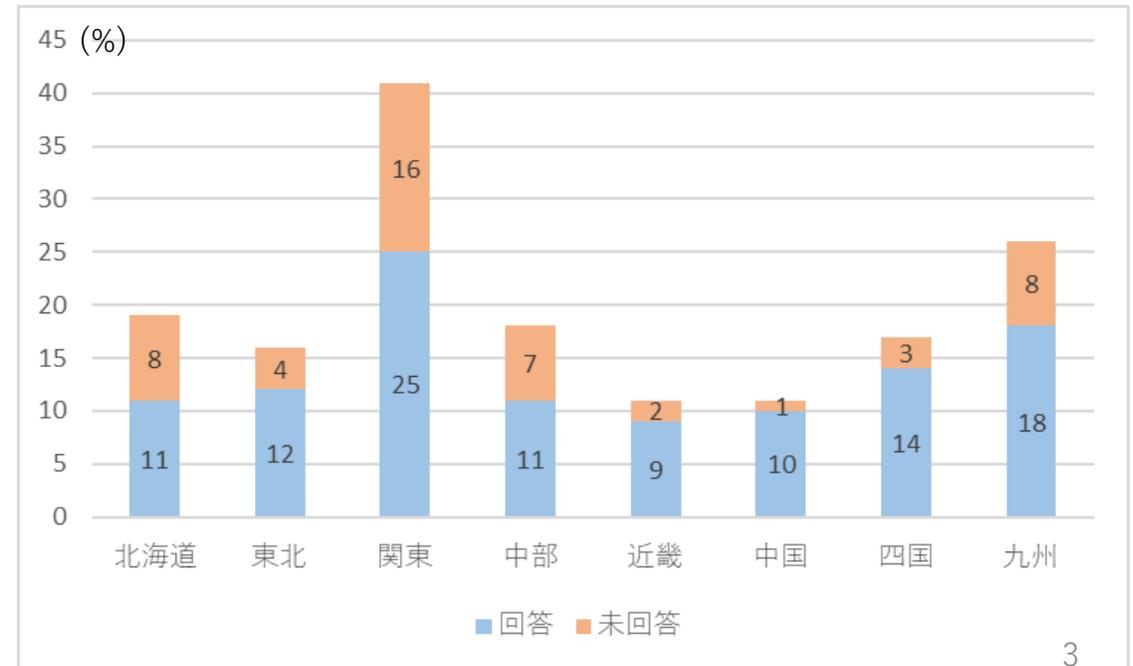
2021年度アンケートの詳細

- 対象：2022年3月末までに登録した地域ESD拠点（159カ所）
- 実施期間：2022年3月～5月
- 有効回答数：110件（回答率69%）
- 回答方式：メールで依頼。ウェブフォームで回答。

「拠点」形態別回答割合



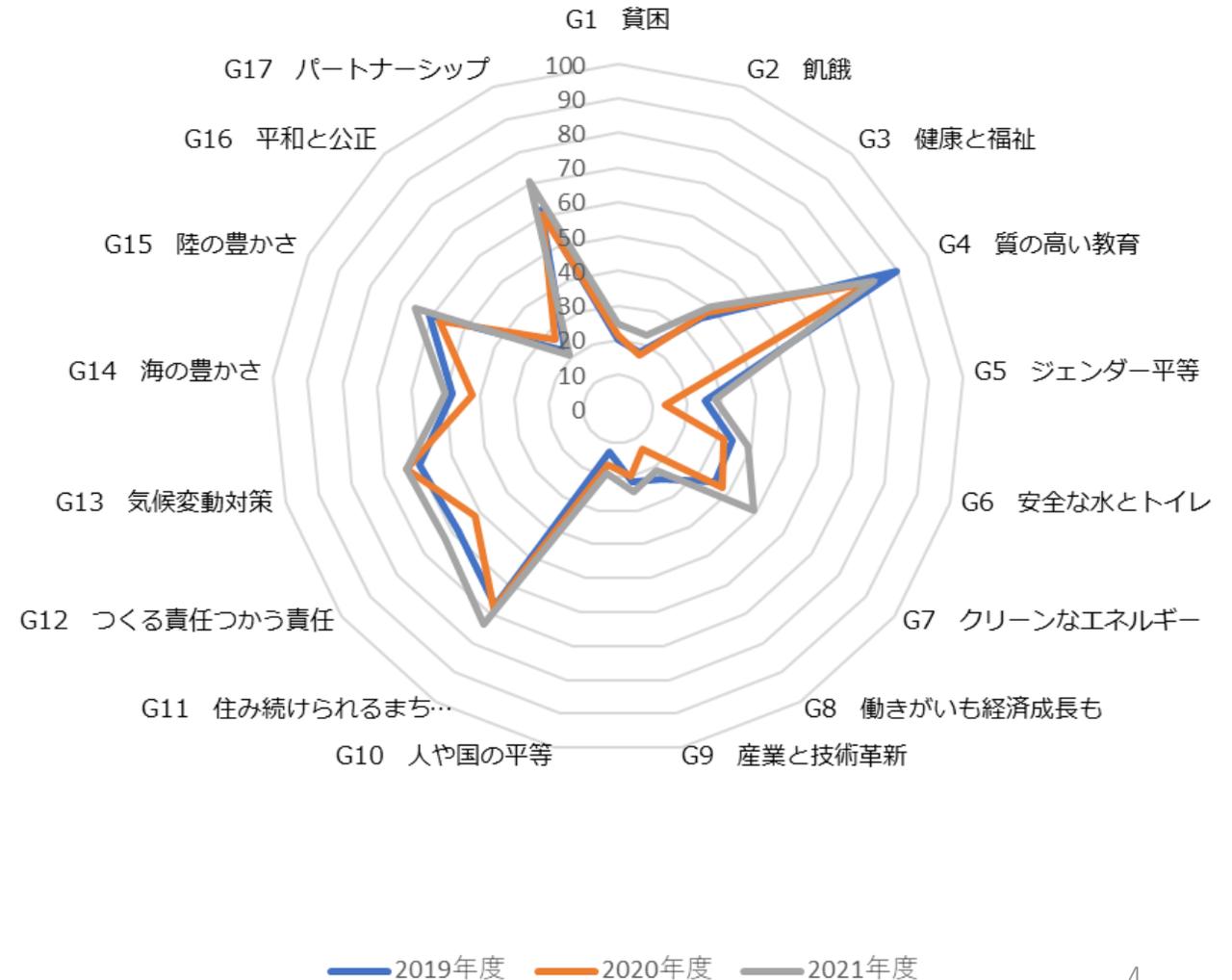
地域別回答割合



1. 実施した活動と関連する「持続可能な開発目標(SDGs)」 (複数回答・%)

- 教育(G4)、住み続けられるまちづくり (G11)、パートナーシップ (G17) が過去3年間にわたり上位を占める。
- クリーンなエネルギー(G7)の伸びが大きく、下位であったジェンダー (G5)の取組も伸びている。
- 気候変動 (G13)は過去3年間にわたり60%前後と高い数値で推移している。

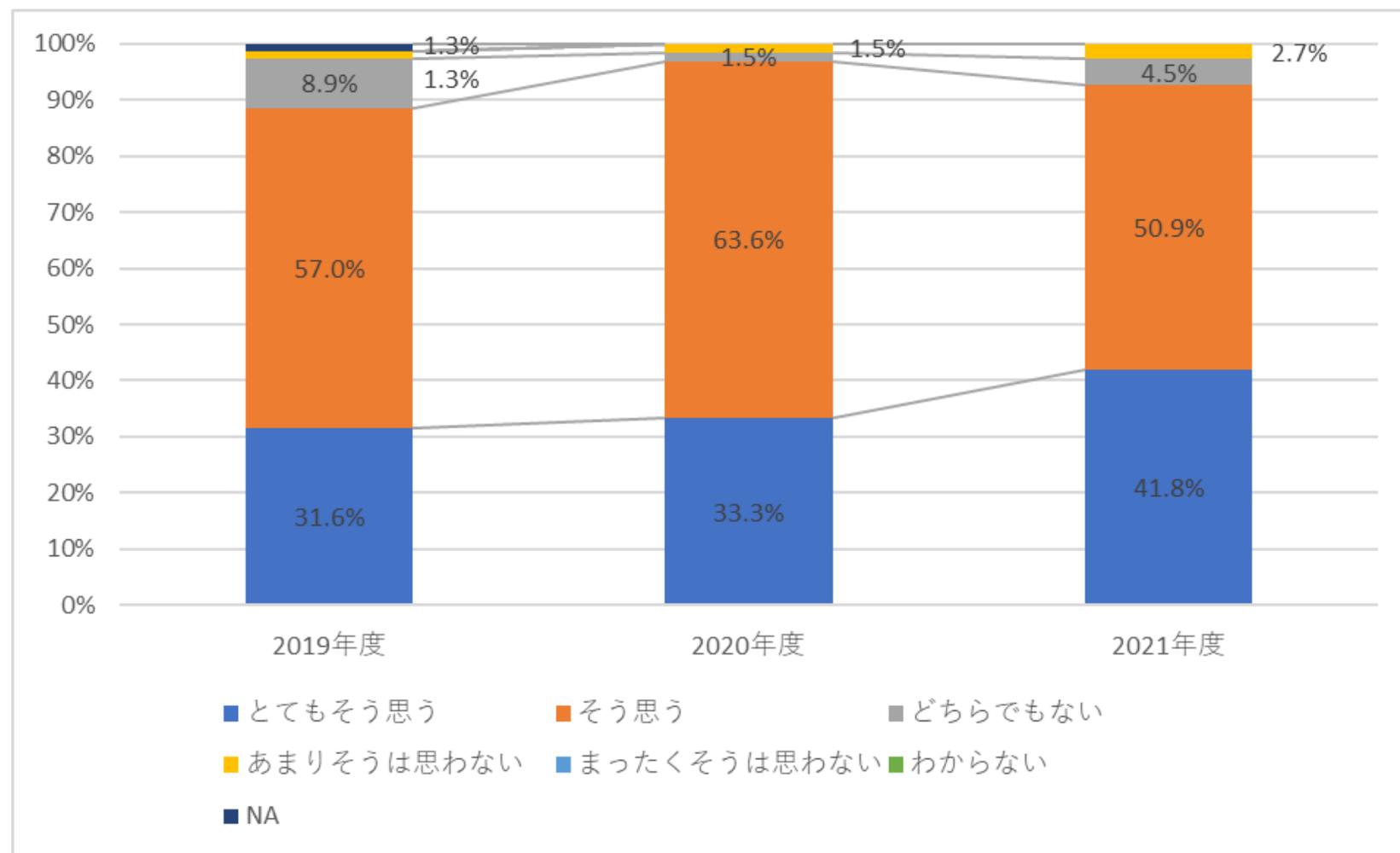
2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110



2. ESD/SDGsの普及・理解促進の度合い

2-1 あなたが所属している地域ESD推進拠点では、ESDをSDGs達成の担い手育成を目指した活動と位置づけて取り組んでいますか。

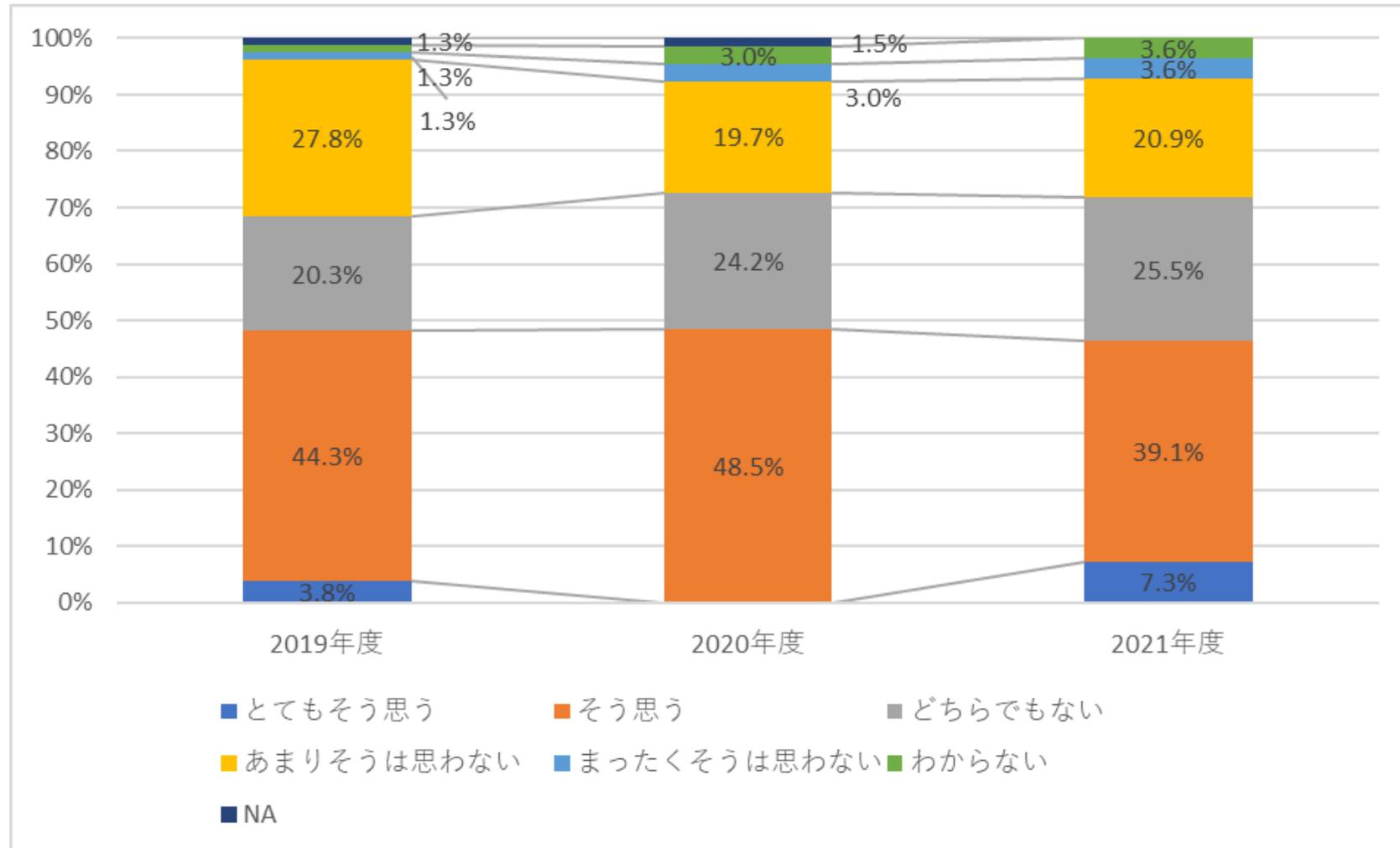
- 「とてもそう思う」という回答が、31.6%→33.3%→41.8%と伸びている。
- 一方、「そう思う」が、57.0%→63.6%→50.9%と減少していることから、今後の傾向を注視していく必要がある。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

2-2 あなたが所属している地域ESD拠点の近隣地域では、ESDの認知度が高まり、理解が進んでいると思いますか？

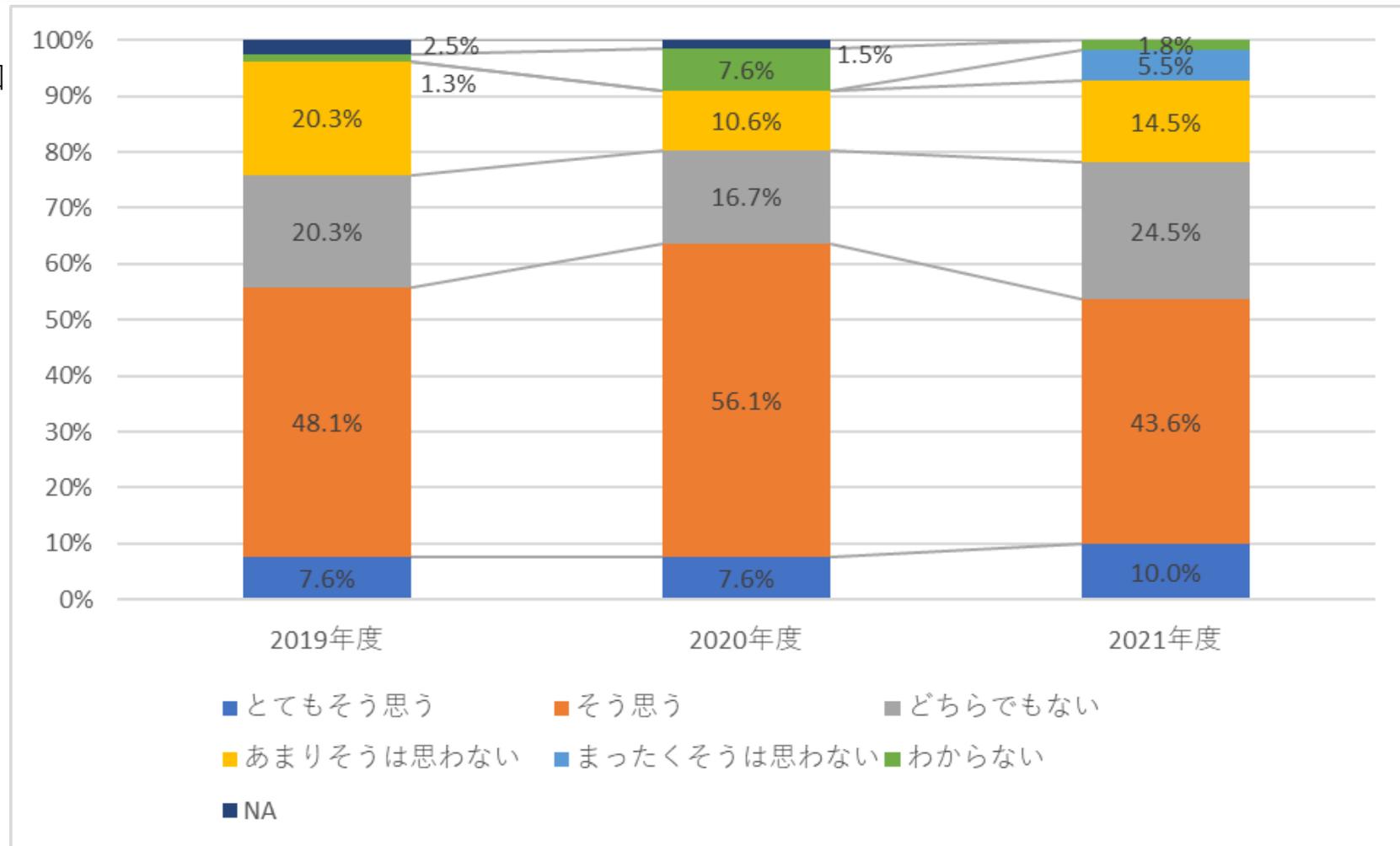
- 「とてもそう思う」、「そう思う」をあわせた回答が、48.1%→48.5%→46.4%と微減しており、認知度が高まっているとは言い難い。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

2-3. あなたが所属している地域ESD拠点の近隣にある学校や社会教育施設ではESDをSDGs達成の担い手育成として位置づけた活動を実施していると思いますか。

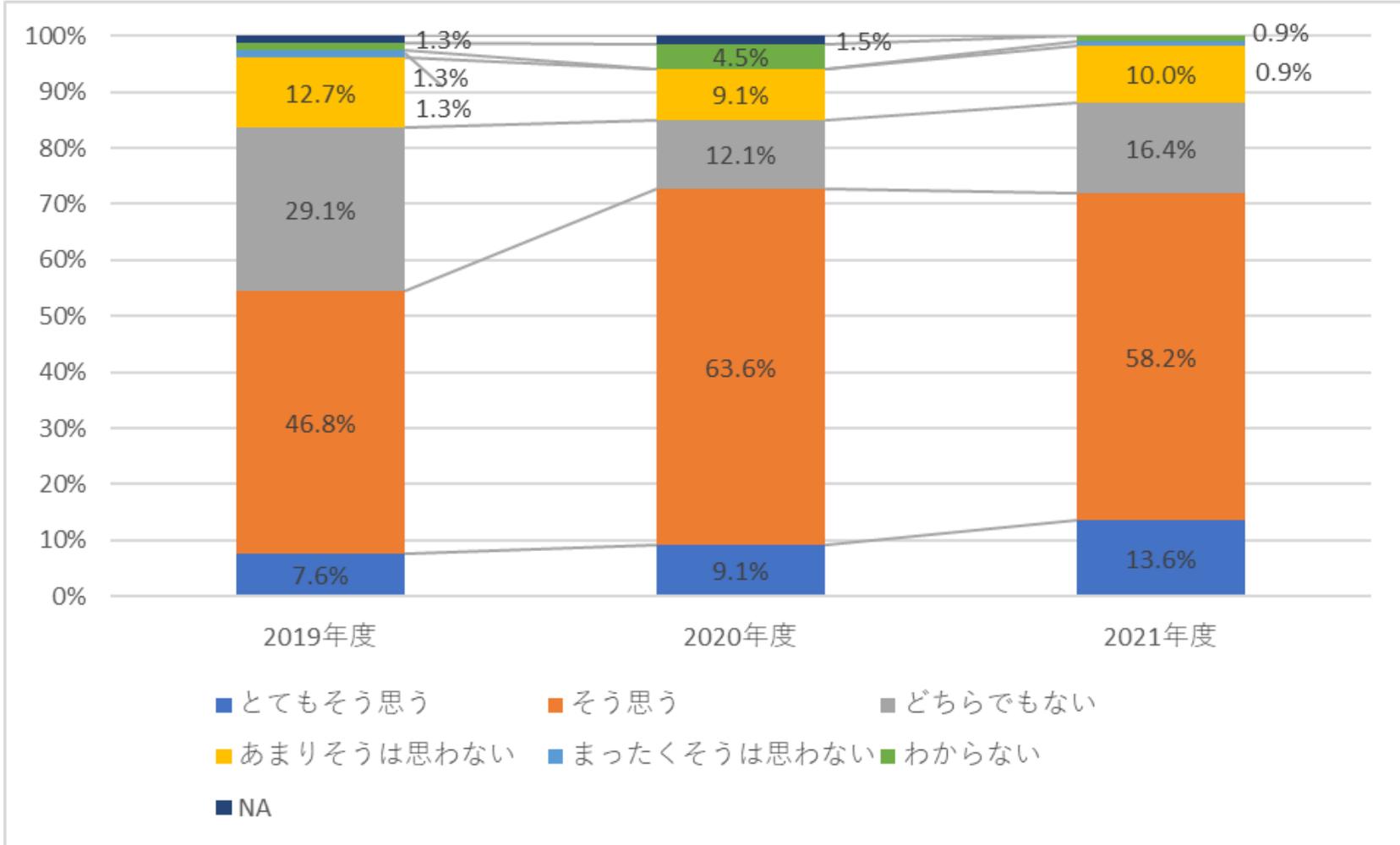
- 「とてもそう思う」が7.6%→7.6%→10.0%と増加している一方で、「そう思う」は、48.1%→56.1%→43.6%と減少。
- 「まったくそう思わない」「あまりはそう思わない」をあわせた否定的な回答が2割程度を占める。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

2-4. あなたが所属している地域ESD拠点の近隣地域では地域課題への取組や、教育・学びにESD(SDGs達成の担い手育成)を取り入れる例が増えていると思いますか。

- 「とてもそう思う」「そう思う」をあわせた回答は、54.4%→72.7%→71.8%と、2019年度と比べて大きく伸びている。
- 質問2-2と比較すると、肯定的な回答が多い。

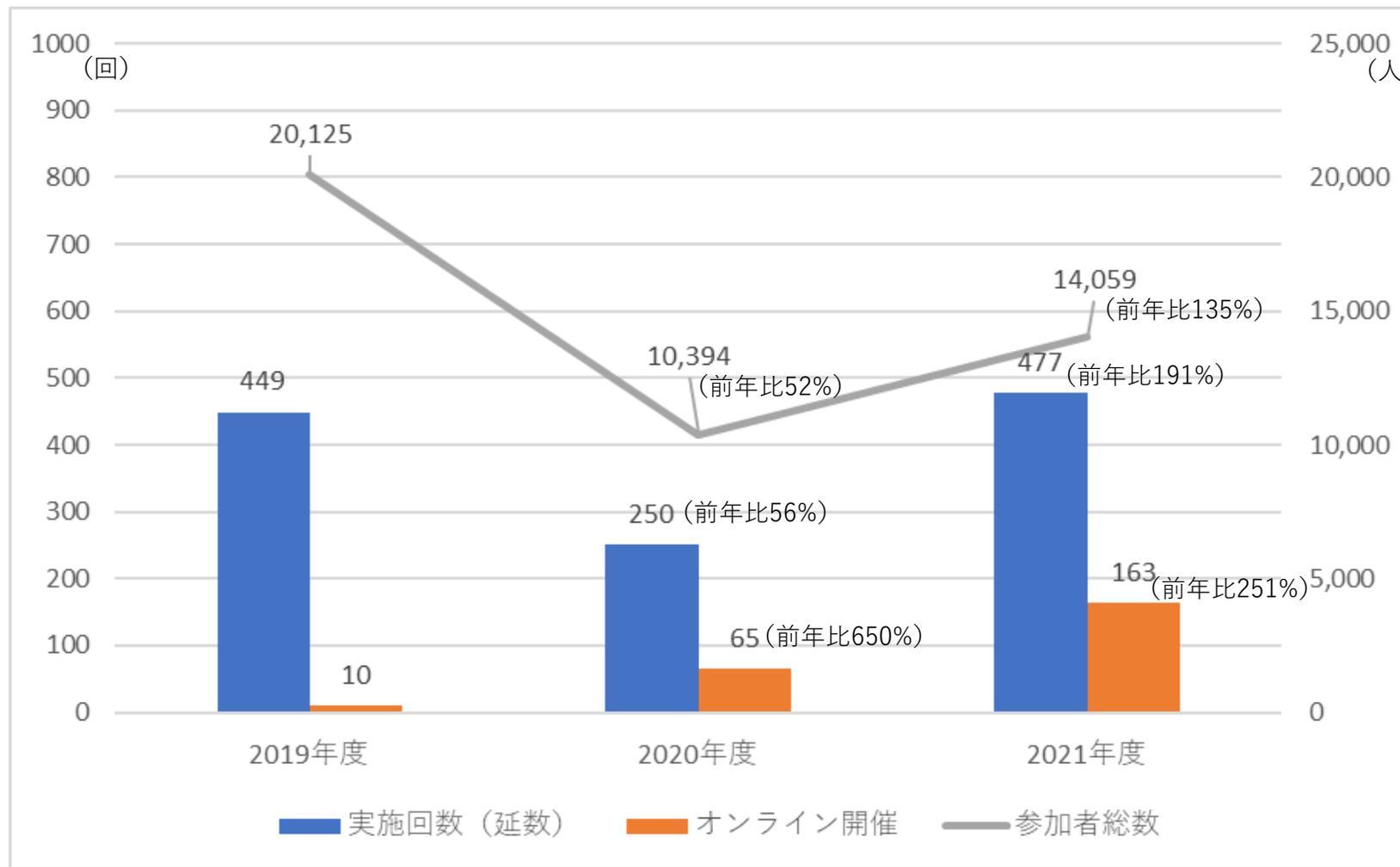


2019年度 N=79
 2020年度 N=66
 2021年度 N=110

3. 行事・プログラムの実績

3-1 ESD実践者育成者養成を目的とした研修・交流会開催実績（実数）

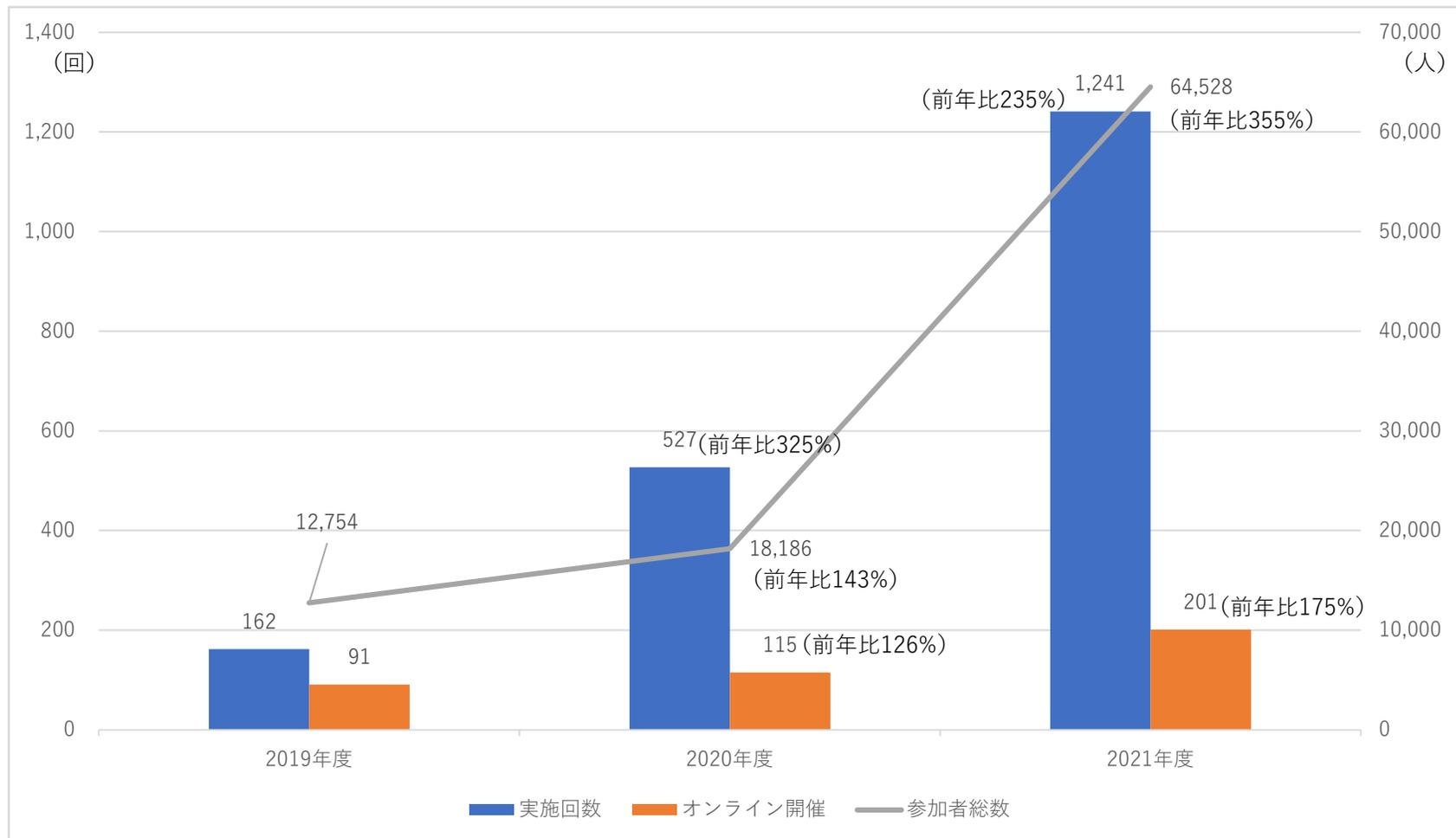
- オンラインによる開催が飛躍的に増加している。研修・交流イベント開催時の選択肢の一つとして定着したと思われる。
- 対面での開催数も回復してきているが、回数の伸びに比べると参加者数の増加は鈍い。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

3-2. ESD/SDGsの普及を目的とした催し・プログラム実施状況（実数）

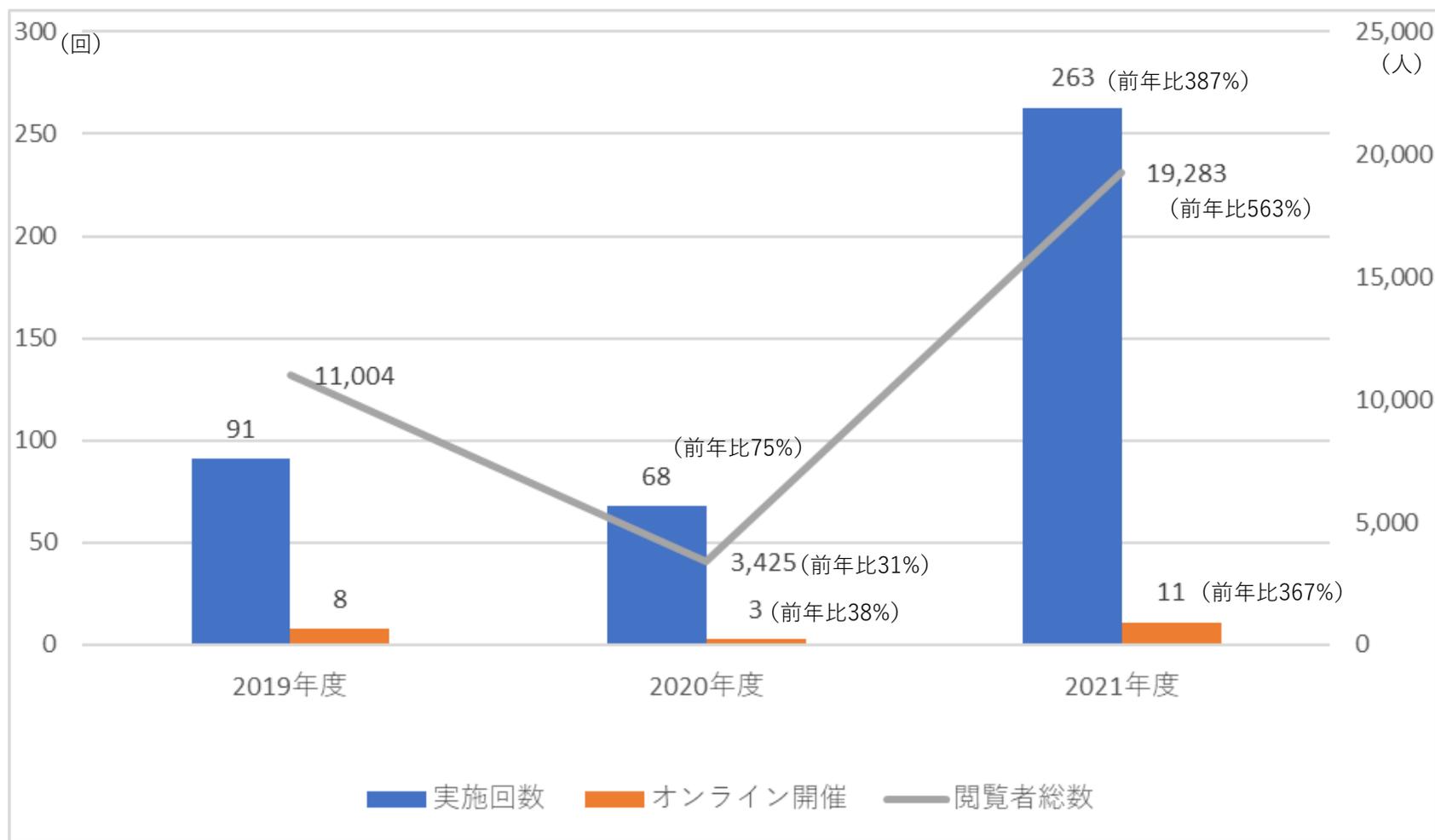
- 普及を目的としたイベントはコロナ下でも多く実施されていた。
- 2021年度には特に参加者数が顕著な伸びを見せている。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

3-3. ESD/SDGsに関する展示実施状況（実数）

- 展示イベントは技術面・予算面でのハードルが高く、オンラインでの実施は難しかったと考えられる。
- 回数は前年比387%、閲覧者は同563%と大幅向上した。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

4 他団体への支援（2019年度実績）（複数回答・実数）

拠点による他団体(属性別)に対しての支援メニューの可視化（2019年度）

N=79

	学校及び 学校教育行政機関	大学等 高等教育機関	社会教育施設・ 社会教育行政機 関	学術研究機関	NPO/NGO 、 公益法人	企業・事業者・ 業界団体	地方公共団体及 び関係機関	国及び国に準 ずる機関
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
1 ウェブ・SNSによる情報発信	34	20	21	10	32	27	28	7
2 相談対応や視察受入	41	20	15	10	27	26	29	7
3 共催・後援	13	14	6	4	30	11	20	6
4 プログラム・教材の開発をサポート・提供	28	8	8	3	14	8	11	1
5 ITの推進、多言語対応等技術的な支援	2	1	1	1	3	1	3	1
6 物品・場所の貸与・供与	18	10	12	4	20	12	18	4
7 資金的支援（助成金提供、資金調達支援等）	3	2	1	1	10	3	1	1
8 ESD実践者育成（研修会開催、インターン受入等）	28	13	6	1	8	6	9	2
9 講師派遣あるいは講師のマッチング	39	13	15	3	20	16	19	3
10 活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）	22	11	10	4	20	15	21	3
11 活動・事業に関する評価の支援	7	3	3	1	3	5	8	0
12 活動・事業に関する事務局機能提供	3	2	2	1	9	2	7	1
13 顕彰（表彰・コンテスト運営等）	12	3	4	1	4	5	3	1
14 政策に関する対話促進・政策提言及びその助言	2	0	1	0	4	1	12	3
15 ESD/SDGsに関する調査・研究	9	6	1	3	6	3	5	1
16 その他	1	0	0	0	0	0	0	0

注) 回答数：頻度 1-9 :  / 頻度 10-19 :  / 頻度 20-29 :  / 頻度 30-39 :  / 頻度 40-49 :  / 頻度 50-59 :  / 頻度 60-69 : 

4 他団体への支援（2020年度実績）（複数回答・実数）

拠点による他団体(属性別)に対しての支援メニューの可視化（2020年度）

N=66

	学校及び 学校教育行政機 関	大学等 高等教育機関	社会教育施設・ 社会教育行政機 関	学術研究機関	NPO/NGO、 公益法人	企業・事業者・ 業界団体	地方公共団体及 び関係機関	国及び国に準 ずる機関
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
1 ウェブ・SNSによる情報発信	32	17	22	9	28	27	31	8
2 相談対応や視察受入	40	25	23	12	29	31	28	12
3 共催・後援	14	8	8	4	24	17	23	7
4 プログラム・教材の開発をサポート・提供	33	11	13	5	14	13	12	6
5 ITの推進、多言語対応等技術的な支援	5	2	1	1	9	7	5	2
6 物品・場所の貸与・供与	21	7	7	3	18	13	9	2
7 資金的支援（助成金提供、資金調達支援等）	4	1	1	2	11	6	1	1
8 ESD実践者育成（研修会開催、インターン受入等）	27	17	9	3	12	5	7	2
9 講師派遣あるいは講師のマッチング	34	16	14	5	18	20	19	6
10 活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）	26	15	14	7	21	19	16	5
11 活動・事業に関する評価の支援	4	3	1	1	6	4	3	1
12 活動・事業に関する事務局機能提供	2	3	2	0	6	6	5	0
13 顕彰（表彰・コンテスト運営等）	14	3	2	2	8	6	3	2
14 政策に関する対話促進・政策提言及びその助言	3	1	1	0	6	5	12	6
15 ESD/SDGsに関する調査・研究	8	7	3	2	7	6	3	0
16 その他	1	0	0	0	1	0	0	0

注) 回答数：頻度 1-9 :  / 頻度 10-19 :  / 頻度 20-29 :  / 頻度 30-39 :  / 頻度 40-49 :  / 頻度 50-59 :  / 頻度 60-69 : 

4 他団体への支援（2021年度実績）（複数回答・実数）

拠点による他団体(属性別)に対しての支援メニューの可視化（2021年度）

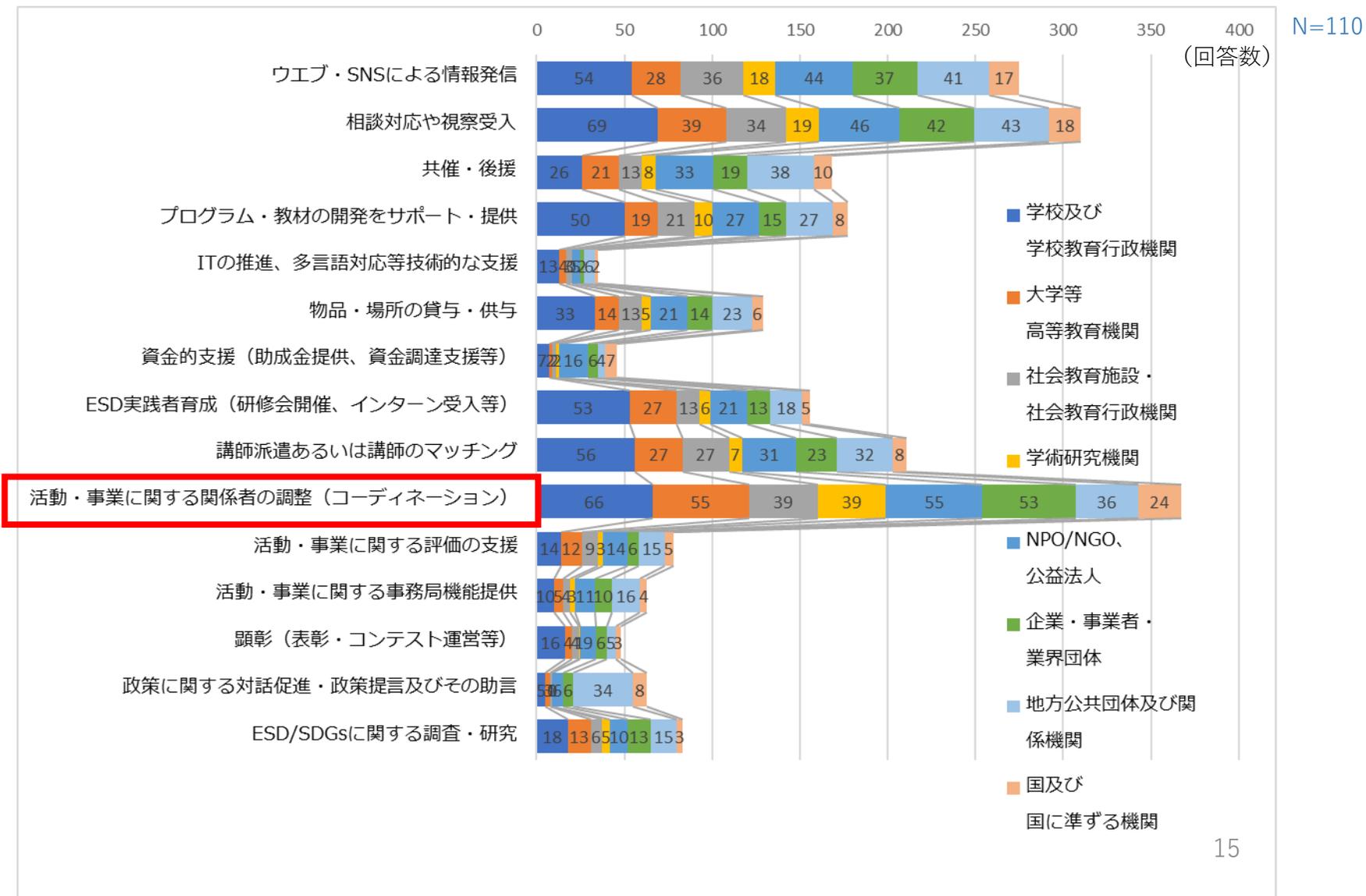
N=110

	学校及び 学校教育行政機 関	大学等 高等教育機関	社会教育施設・ 社会教育行政機 関	学術研究機関	NPO/NGO、 公益法人	企業・事業者・ 業界団体	地方公共団体 及び関係機関	国及び国に 準ずる機関
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
1 ウェブ・SNSによる情報発信	54	28	36	18	44	37	41	17
2 相談対応や視察受入	69	39	34	19	46	42	43	18
3 共催・後援	26	21	13	8	33	19	38	10
4 プログラム・教材の開発をサポート・提供	50	19	21	10	27	15	27	8
5 ITの推進、多言語対応等技術的な支援	13	4	3	0	5	2	6	2
6 物品・場所の貸与・供与	33	14	13	5	21	14	23	6
7 資金的支援（助成金提供、資金調達支援等）	7	2	2	2	16	6	4	7
8 ESD実践者育成（研修会開催、インターン受入等）	53	27	13	6	21	13	18	5
9 講師派遣あるいは講師のマッチング	56	27	27	7	31	23	32	8
10 活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）	66	55	39	39	55	53	36	24
11 活動・事業に関する評価の支援	14	12	9	3	14	6	15	5
12 活動・事業に関する事務局機能提供	10	5	4	3	11	10	16	4
13 顕彰（表彰・コンテスト運営等）	16	4	4	1	9	6	5	3
14 政策に関する対話促進・政策提言及びその助言	5	3	1	0	6	6	34	8
15 ESD/SDGsに関する調査・研究	18	13	6	5	10	13	15	3
16 その他	2	1	1	1	3	1	2	1

注) 回答数：頻度 1-9 :  / 頻度 10-19 :  / 頻度 20-29 :  / 頻度 30-39 :  / 頻度 40-49 :  / 頻度 50-59 :  / 頻度 60-69 : 

4-1 他団体への支援（2021年度実績）（複数回答・実数）

- 多くの拠点が、多様な属性の組織・団体を対象に活動・事業のコーディネートを行っている。
- 対象別では、学校への支援がいずれの項目でも比較的多い。



支援メニュー × 支援先 件数と伸長率（19年V S 21年）

2021年

N=110（複数回答）

支援メニュー	支援先	学校および 学校教育行政機関		大学など高 等教育機関		社会教育施 設・社会教 育機関		学術研究機 関		NPO NGO 公益法人		企業・事業 者・業界団 体		地方公共団 体及び関係 機関		国及び国に 準ずる機関		合計	
		19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	19年比	
1 ウェブ・SNSによる情報発信		54	159%	28	140%	36	171%	18	180%	44	138%	37	137%	41	146%	17	243%	275	154%
2 相談対応や視察受入		69	168%	39	195%	34	227%	19	190%	46	170%	42	162%	43	148%	18	257%	310	177%
3 共催・後援		26	200%	21	150%	13	217%	8	200%	33	110%	19	173%	38	190%	10	167%	168	162%
4 プログラム・教材の開発をサポート・提供		50	179%	19	238%	21	263%	10	333%	27	193%	15	188%	27	245%	8	800%	177	219%
5 ITの推進、多言語対応等技術的な支援		13	650%	4	400%	3	300%	0	0%	5	167%	2	200%	6	200%	2	200%	35	269%
6 物品・場所の貸与・供与		33	183%	14	140%	13	108%	5	125%	21	105%	14	117%	23	128%	6	150%	129	132%
7 資金的支援（助成金提供、資金調達支援等）		7	233%	2	100%	2	200%	2	200%	16	160%	6	200%	4	400%	7	700%	46	209%
8 ESD実践者育成（研修会開催、インターン受入等）		53	189%	27	208%	13	217%	6	600%	21	263%	13	217%	18	200%	5	250%	156	214%
9 講師派遣あるいは講師のマッチング		56	144%	27	208%	27	180%	7	233%	31	155%	23	144%	32	168%	8	267%	211	165%
10 活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）		66	300%	55	500%	39	390%	39	975%	55	275%	53	353%	36	171%	24	800%	367	346%
11 活動・事業に関する評価の支援		14	200%	12	400%	9	300%	3	300%	14	467%	6	120%	15	188%	5	#DIV/0!	78	260%
12 活動・事業に関する事務局機能提供		10	333%	5	250%	4	200%	3	300%	11	122%	10	500%	16	229%	4	400%	63	233%
13 顕彰（表彰・コンテスト運営等）		16	133%	4	133%	4	100%	1	100%	9	225%	6	120%	5	167%	3	300%	48	145%
14 政策に関する対話促進・政策提言及びその助言		5	250%	3	—	1	100%	0	—	6	150%	6	600%	34	283%	8	267%	63	274%
15 ESD/SDGsに関する調査・研究		18	200%	13	217%	6	600%	5	167%	10	167%	13	433%	15	300%	3	300%	83	244%
16 その他		2	200%	1	—	1	—	1	—	3	—	1	—	2	—	1	—	12	1200%
合計		492	188%	274	217%	226	213%	127	270%	352	168%	266	189%	355	183%	129	315%	2221	197%

③

④

②

①

1 団体あたりの回答数 = 14.3（19年）→20.2（21年）

【メニュー別】関係者の調整（コーディネーション）が件数・伸長率とも大。相談対応や視察受け入れ、情報発信の件数がそれに次ぐ。

【支援先別】伸長率では、①国及び国び準ずる機関 ②学術研究機関 が高い。

件数としては、学校関係、地方公共団体、NPO、NGOなどが多い。従来からの関係性の強さと思われる。

学校関係では関係者の調整（コーディネーション）などの支援、自治体では関係者調整などの他に政策支援の件数も多い。

支援メニュー × 支援先 メニュー分類別伸長率（19年V S21年）

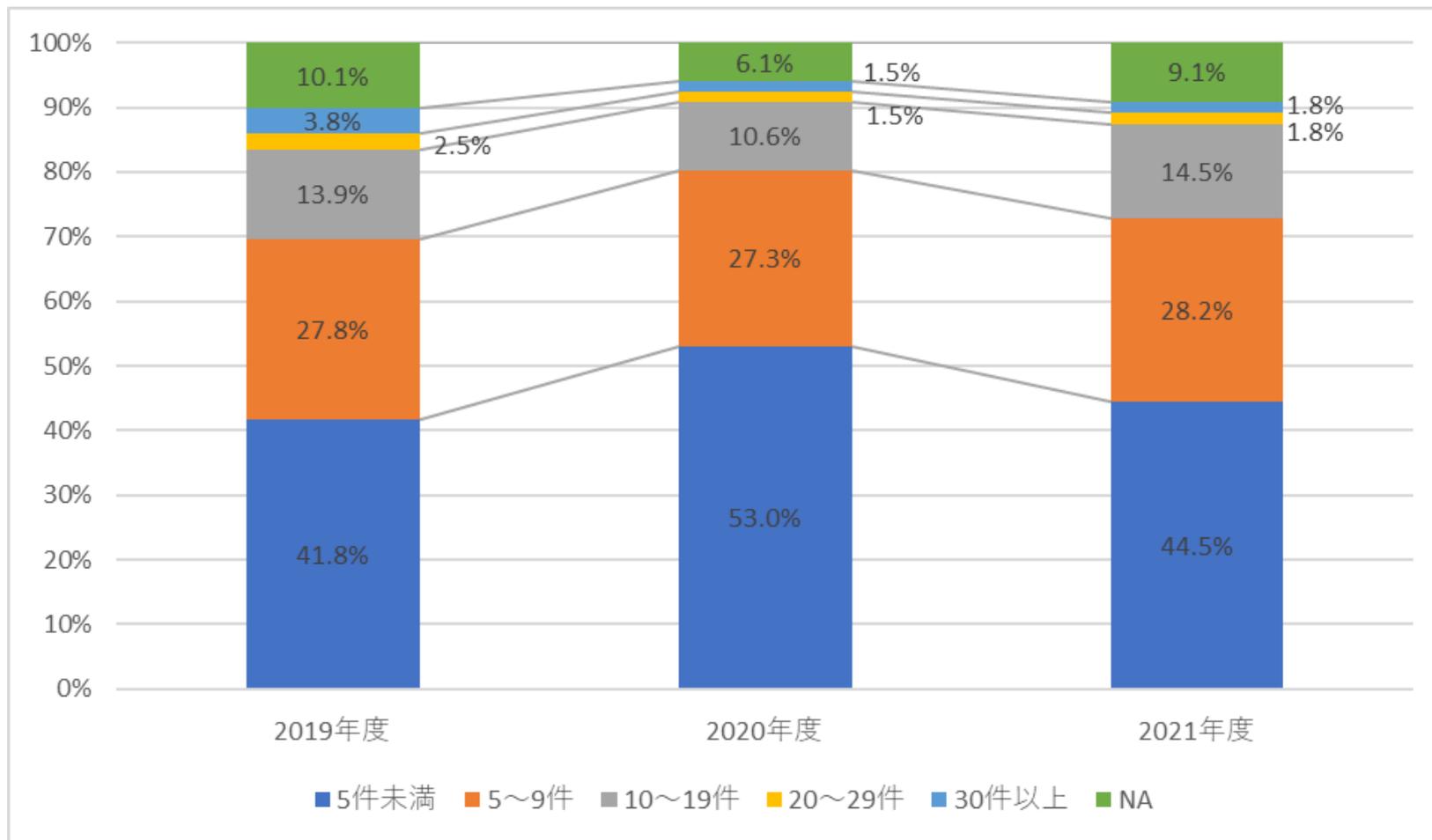
N=110

2021年		学校および 学校教育行政機関	大学など高 等教育機関	社会教育施 設・社会教 育機関	学術研究機 関	NPO NGO 公益法人	企業・事業 者・業界団 体	地方公共団 体及び関係 機関	国及び国に 準ずる機関	合計	19年比	メニュー 5分類計	19年比	
立地	5 ITの推進、多言語対応等技術的な支援	13	4	3	0	5	2	6	2	35	269% ③	立地計	247	170%
立地	6 物品・場所の貸与・供与	33	14	13	5	21	14	23	6	129	132%			
立地	15 ESD/SDGsに関する調査・研究	18	13	6	5	10	13	15	3	83	244% ⑤	変革計	309	197%
変革	11 活動・事業に関する評価の支援	14	12	9	3	14	6	15	5	78	260% ④			
変革	14 政策に関する対話促進・政策提言及びその助言	5	3	1	0	6	6	34	8	63	274% ②			
変革	3 共催・後援	26	21	13	8	33	19	38	10	168	162%	プロセス計	415	299%
プロ	10 活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）	66	55	39	39	55	53	36	24	367	346% ①			
プロ	13 顕彰（表彰・コンテスト運営等）	16	4	4	1	9	6	5	3	48	145%	資源計	928	170%
資源	1 ウェブ・SNSによる情報発信	54	28	36	18	44	37	41	17	275	154%			
資源	4 プログラム・教材の開発をサポート・提供	50	19	21	10	27	15	27	8	177	219%			
資源	7 資金的支援（助成金提供、資金調達支援等）	7	2	2	2	16	6	4	7	46	209%			
資源	8 ESD実践者育成（研修会開催、インターン受入等）	53	27	13	6	21	13	18	5	156	214%			
資源	9 講師派遣あるいは講師のマッチング	56	27	27	7	31	23	32	8	211	165%			
資源	12 活動・事業に関する事務局機能提供	10	5	4	3	11	10	16	4	63	233% ⑥			
問題	2 相談対応や視察受入	69	39	34	19	46	42	43	18	310	177%	問題解決	310	177%
	16 その他	2	1	1	1	3	1	2	1	12	1200%			
	合計	492	274	226	127	352	266	355	129	2221	197%			
		188%	217%	213%	270%	168%	189%	183%	315%					
			③	④	②				①					

「資源凍結」のこれまでの継続的实施と拡充が、「プロセス支援機能」（コーディネーション）の伸長に影響していることが推察される。

5. ESD活動支援センター（全国・地方）が提供した情報のうち参考になったと思われる件数は何件ぐらいありましたか。

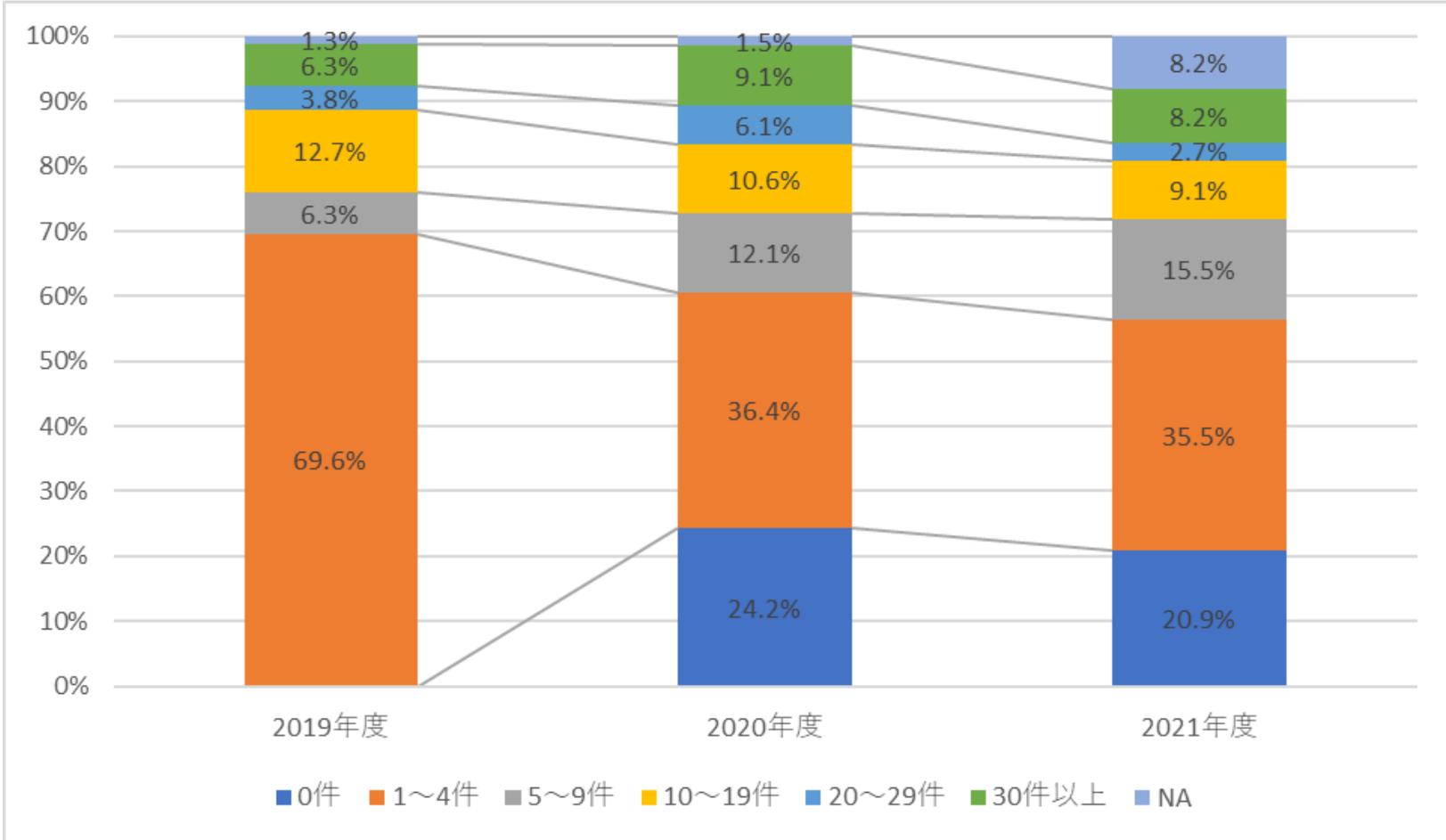
- コロナ前(2019年度)と比較すると、5件未満が減少しておらず(41.8%→44.5%)、20件以上が減っている(6.3%→3.6%)。
- ウェブサイトだけでなく、SNSやメール配信を積極的に活用して多くの情報を拠点に届けていくことが必要。



2019年度 N=79
2020年度 N=66
2021年度 N=110

6. あなたが所属する地域ESD拠点が他のステークホルダーと連携または協働して実施・支援したESD活動の件数を選んで下さい。

- 「5件～9件」「10件～19件」「20～29件」「30件以上」をあわせた5件以上の実施拠点が、29.1% → 37.9% → 35.5%と増加傾向にあることから、積極的に活動する拠点とそうでない拠点との差が出てきていると考えられる。



2019年度 N=79
 2020年度 N=66
 2021年度 N=110

※2019年度は0件の選択肢が無く「0～4件」となっていた。